

2012年度 沖縄キリスト教学院大学

人文学部 英語コミュニケーション学科

一般入試 前期日程

【小論文】模範解答

低学力に対処する方法として「習熟度別指導」があるが、学力格差の拡大という結果しかもたらしていない。国際的には「習熟度別指導」を廃止し、様々な能力や興味をもつ子供達を集め、互いに学ばせる方向に進んでいる。よく教育者達は「わからなければレベルを下げて教え、基礎から積み上げてゆけばわかる」と言うが、この認識は誤りである。

例えば、小学校三年生のレベルの漢字が読めない六年生の子どもに、「習熟度別指導」でもう一度三年生のレベルから漢字を学び直しさせようとしても効果は上がらない。むしろより多くの漢字に触れ、これらを使って表現するという学習に一、二年かけることで、小学校六年までの漢字をほぼ完全に習得させることができるのである。

知識や技能は段階的にというよりも機能的に学ばれるものである。「習熟度別指導」は、低学力の子供達を学力の低いままに押しとどめてしまう結果に終わってしまうだろう。